

## 1. インターバンク市場

先週のインターバンク市場は、日銀発表の残り要積立額が14日時点で0となった。積み最終日前にこのような状況となることは、過去十数年、2000年代前半のゼロ金利時代でも観察されなかった。積み期間中に超過準備を発生させていなかった先が、今回は無くなったものと考えられる。年末の目標に向け着実に積みあがっている超高水準の当座預金残高を背景に、無担保コールO/N加重平均レートは0.065%台後半で落ち着いて推移した。ビッドは朝方に地銀、信託、証券業態から0.06~0.065%、大手行からは0.06%(週末のみ0.065%)が入り、出し取り一巡後は閑散となる展開が週を通して続いた。また、一部の銀行から試し取りが見られたことで、レートが若干引き上げられた。ターム物は、大手行による1W~1Mでの調達が見られた。固定金利方式の全店共通担保資金供給オペは14日に3M物がオファーされた。応札額4,831億円となり、期落ち分の合計額3,890億円を上回ったものの、札割れの結果となった。

今週のインターバンク市場は、18日にTB3M発行超過と5Y発行、20日にTB1Y発行超過、21日に20Y発行等の資金不足要因があり、週間では大幅な資金不足となる見込みである。一方で、潤沢な資金供給オペが継続的に行われていることから、落ち着いた展開が続くものと思われる。

## 2. オープン市場

先週の短国市場は11日に短国買入オペが25,000億円で実施され、品薄感が漂う中、13日に2M物、14日に3M物の入札が実施された。2M物の入札は平均落札利回り0.0250%、最高落札利回り0.0266%となり、3M物は平均落札利回り0.0228%、最高落札利回り0.0260%となった。品薄感が漂ってはいるものの、ここ最近の絶対水準が低すぎたせいか、買い急ぐ向きはそれほど見られず、落ち着いた入札となった。15日に20,000億円で実施された短国買入オペは平均利回較差+0.001%、按分利回較差▲0.001%となり、前回オペ比で5,000億円減額されたものの、市場実勢水準の落ち着いた結果となった。週末の気配は2~3Mで0.020~0.030%と様子見姿勢が強めに出ていた。

先週のCP発行市場は夏季休暇期間中のため市場参加者が少なく、週間発行総額は4,000億円弱にとどまるなど、閑散としていた。足元金利が高止まっていることやCP等買入オペのレートが上昇していることで、発行残高の多い銘柄ではレートがじり高で推移しているものの、全般的には動意に乏しく横ばい圏の出合いであった。a-1格銘柄は3M:0.095~0.105%程度となっていた。

今週は18日に1Y物、21日に3M物の入札が実施予定となっており、共に順調な入札が予想される。CP市場は夏季休暇明けの発行再開から、案件が膨らむことが予想される。また、18日にCP等買入オペが予定されている。

## 3. 資金需給および国債等

銀行券は週間で800億円程度の発行超見通し。財政資金は、18日のTB3M発行超過・5Y発行を中心に6兆5,700億円程度の揚げ超見通し。以上により、今週の資金需給(日銀調節を除く)は週間で6兆6,500億円程度の資金不足を予想する。国債・借入金(日銀償還を除く)の動きは次の通り。<18日>TB3M;償還42,000億円・発行57,000億円/5Y;発行27,000億円<19日>エネルギー対策借入;期日3,500億円・新規4,000億円<20日>TB1Y;償還9,000億円・発行25,000億円/交付税特会借入;期日10,500億円・新規10,500億円<21日>20Y;発行12,000億円

2014年	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ	期日	新規実行	オペ合計	実質過不足
8/18(月)	1,200	△ 39,700	△ 38,500	全店共通(固) CP買入 ETF買入	△ 3,900 △ 100	4,800	900	△ 37,600
8/19(火)	1,000	1,000	2,000	短国買入 国債買入		20,000 9,000	29,000	31,000
8/20(水)	0	△ 16,000	△ 16,000				0	△ 16,000
8/21(木)	△ 1,000	△ 13,000	△ 14,000	CP買入		4,500	4,500	△ 9,500
8/22(金)	△ 2,000	2,000	0				0	0
週間合計	△ 800	△ 65,700	△ 66,500		△ 4,000	38,400	34,400	△ 32,100

(注) 上表の8/18は日銀予想、8/19以降は当社予想。

国内主要経済指標		国債等入札予定		海外主要経済指標
8/18(月)		TB1Y 25,000億円 8/20発行		
8/19(火)	6月の景気動向指数改訂状況(内閣府 14:00)	20Y 12,000億円 8/21発行	交付税借入 10,500億円 8/27借入	7月の米消費者物価指数 7月の英消費者物価指数 7月の米住宅着工件数
8/20(水)	7月の貿易統計(財務省 8:50)			
8/21(木)		TB3M 57,000億円 8/25発行	流動性供給 4,000億円 8/25発行	7月の米中古住宅販売
8/22(金)				

本資料の内容は、十分信頼し得る情報・データ等に基づいて作成しておりますが、内容の正確性については弊社がこれを保証するものではありません。掲載内容のタイトル・日時・地域等につきましては、お取引先様各位にて別途ご確認載きませう、何卒宜しく願い申し上げます。

金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。

金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関 関東財務局長(登金)第526号 日本証券業協会加入